

カエルもトンボもみんな村民 自然体験村「ケロンの小さな村」

・石川県／能登町
・開催時期：4月～11月

子ども心に火を灯す…、そんなケロン村を目指しています！

自然体験やイベント等の内容

じょうのり

・上乗夫婦は、定年退職を機に故郷の荒れた里山を再開発して子供たちが自然体験や環境学習ができる場を創ろうと、自然体験村「ケロンの小さな村」を創設しました。

・村の棚田では田植や稲刈り、森では植樹や薪割りなど、里山を創り守る貴重な体験ができます。

また、自然体験の後は美味しい米粉のピザづくりを楽しみましょう。使うお米も野菜ももちろんケロン産です。大きな石窯で香り高く焼き上げ、野外レストランで食べる手作りピザは最高の味と思い出になるでしょう。

さらに、子ども木工教室では間伐材を使った椅子や本立てなどの制作体験を、森や川、ビオトープでは夏・秋・冬の自然教室など、里山の豊かさや大切さを楽しく遊びながら学べます。

・年間5,000人を超える来村者があり、世界農業遺産でもある能登半島の人気スポットです。



収穫を喜ぶ上乗夫婦



夏の自然観察会

取組主体の紹介

ケロンの小さな村では、「自力開発」と「長期計画」を理念に、①農業の6次産業化 ②観光振興で地域の活性化 ③子どもの心に火を灯す、の3本柱で取り組んでいます。中でもケロンのお米を自家製粉した石窯焼きの玄米パン、玄米ピザは人気商品。

イベントに参加するには

村は土日の10～17時で開いています。また、公式Facebookにてイベント情報等も発信し、参加を募集しています。

- ・申込先：keron.mura@gmail.com
- ・所在地：〒928-0326石川県鳳珠郡能登町斉和た部2 6
- ・TEL：0768-62-1471 (090-4322-1380)
- ・公式Facebook：https://www.facebook.com/keronmura/



夫婦2人で創り上げた「ケロンの小さな村」

農家民宿群「春蘭の里」

しゅんらん

さと

・石川県／能登町
・開催時期：通年

80種類以上の体験メニューがある農家民宿群！

体験学習等のイベント等の内容

・集落の存続に危機感を持った有志が地域活性化を目指して、「春蘭の宿」を核に地域ぐるみで農家民宿を運営。

・各農家民宿は、1日1客限定とし、農家民宿の質や料金を統一しています。化学調味料不使用の地元食材のみを使用した料理を輪島塗の器で提供しています。また、田植、稲刈りだけでなく、野菜の収穫体験や自然体験など季節ごとに異なる80種類以上の体験メニューを用意しています。さらに、大学と連携し、体験メニューの改善に取り組むほか、修学旅行の受入れにも力を入れています。

・宿泊客数は年間13,000人（H30）にもなっています。農家民宿の売上げが増加し、農家民宿開業を目指す若者が定着したり、移住者の増加にもつながっています。



黒瓦と白壁の農家民宿群



修学旅行の受入れ

取組主体の紹介

取組主体である「春蘭の里実行委員会」は、集落の存続に危機感を持った有志が黒瓦、白壁などの地域の景観や伝統を地域資源として、農家民宿・農林漁業体験事業を実施しています。また、47軒ある農家民宿の受付窓口を一本化しました。

イベントに参加するには

宿泊や体験に関する情報をHPで発信し、参加者や宿泊者を募集しています。

・取組主体等：春蘭の里実行委員会

・TEL：0768-76-0021

・参考URL：<http://shunran.info/>



輪島塗の御膳による食事の提供

日本一の伝統の技の宝庫と農村のくらしを学びに海外からも！

体験学習等のイベント等の内容

・ ロハス越前は、農家に泊まって、農業体験・自然体験・伝統産業体験を行うグリーン・ツーリズムを展開。

・ 農家民宿の宿泊者は、田舎での滞在や農業体験等を通じて、自然の息吹や受け継がれている伝統文化を体感できます。具体的には、田植、稲刈りなどの農業体験はもちろん、ホテル観察や川遊びなどの自然体験、越前地域にある和紙・漆器・打ち刃物・織物・焼き物などの伝統産業を体験できます。さらに、教育旅行の受入れにも力を入れており、米や大豆のオーナー制度など年間を通じた体験も提供しています。

・ 体験学習の延べ受入人数は892人(R2年)となり、地域の祭りにも賑わいが増加するとともに、受入農家や地域住民が地域の良さ、食の豊かさを再認識しています。



海外からの教育旅行の受入れ



農業体験の実施

取組主体の紹介

取組主体であるロハス越前は、グリーン・ツーリズム事業を行う団体です。体験事業だけではなく、農家民宿の運営や、地元農家、職人の手によって作られた特産品・伝統工芸品のセレクトショップの運営も行っています。

イベントに参加するには

農業体験・自然体験・伝統産業体験について、定期的にHP（下記URL参照）に掲載し、参加を募集しています。

・ 取組主体等：ロハス越前

・ TEL：090-2125-0879 ・ Mail：info@lohas-echizen.org

・ 参考URL：https://lohas-echizen.org/



地域の伝統 和紙の紙漉き体験

種蔵の棚田と美しい風景を守るため、参加型プログラムにより
休耕となっている「みょうが畑」を復活させ景観保全に貢献！

体験学習等のイベント内容

・休耕となっている田畑を活用し、地域の名産品である「みょうが」畑のオーナー（R3～）や作業毎に参加者を募集、参加者はみょうが畑での農作業体験等を通じて、栽培を楽しみながら良好な景観の保全に貢献しています。

・飛騨市ふるさと種蔵村「myみょうがプロジェクト」は、みやかわみょうがの師匠（農家）の弟子になり、師匠から栽培方法を教わり、実際に栽培するプロジェクトで、オーナーは、種蔵地区の棚田において、みょうが畑の草取り、間引き、収穫、藁（わら）敷きなど年4回以上の農作業を行います。

・この活動に県内外から年間約80人参加し、中には関東から参加する家族連れもあり、地元農家や参加者同士の交流を深めています。



←大きくてぷっくり
みやかわみょうが



みょうが収穫のレクチャーを受ける参加者（8月）

取組主体の紹介

取組主体である「飛騨市ふるさと種蔵村」は、飛騨市宮川村種蔵の棚田と石積み、周囲に点在する板倉が醸し出す貴重な原風景を後世に引き継ぐことを目的として設立（H30）された架空の村（組織）です。

県内外から種蔵を愛する「村民」を募集（申請により登録）、集落内の草刈りや石垣修繕、棚田での米やみょうがの生産等景観保全活動に支援いただき、貴重な景観資源を保全しています。

イベントに参加するには

「村民」及び活動に興味のある方等を対象に各種景観保全活動への参加を随時募集しています（下記URL参照）。

- ・取組主体等：飛騨市ふるさと種蔵村
- ・問合せ先（TEL等）：「飛騨市ふるさと種蔵村」事務局
（飛騨市宮川振興事務所産業振興係）
TEL: 0577-63-2312
- ・参考URL：<https://hidasuke.com/events/event/>

写真提供：「ヒダスケ！」（事務局：飛騨市地域振興課）

↓板倉を背景にみょうが畑の草取りの様子（4月）



みょうが畑の藁敷き
（冬支度）の様子
（10月）



東海農政局の
←当該ウェブサイトはこちら